

心をつなぐ あなたが主役

大みか社協だより

第32号
 平成23年7月5日
 発行
 大みか学区
 コミュニティ推進会
 地域福祉局(社協)
 日立市大みか町
 3-19-16
 大みか交流センター
 Tel・Fax 53・5211
 地域福祉局 53・5363

平成23年度大みかコミュニティ推進総会開かれる

4月17日(日)、大みか学区コミュニティ推進総会が、会員、町内会および自治会等代表者の出席により交流センターにおいて開催されました。

22年度事業は、推進福祉員、班長、副班長をはじめ地域の皆さまのご協力により各事業が順調に展開され成果を得ることができました。地域福祉局では、「ふくしのつどい」を開催するなど地域の方との連帯、ふれあいが一層深まりました。特に、3月11日の東日本大震災に際し、ひなん場所の大みか小体育館、交流センターに地域住民、入院患者や帰宅困難者が多数避難

され、民生・児童委員、防災犯部員や地域のボランティア多数、支援活動に携わりました。町内、近所同士の助け合いなど地域の絆の大切さを確認できました。23年度の事業計画は、大震災の経験をもとに、今後、大みかの地域における非常時の体制と対策について、地域全体の課題として取り組むことが確認されました。



また、地域福祉局は、「明るく住みよい福祉のまち大みか」を目指し、地域の方や民生委員の協力を得ながら、前年度に継続して定例事業を推進してまいります。

総会議案は、次について審議さ

れ、承認されました。

- ・22年度事業・決算報告
- ・23年度事業・予算計画
- ・役員改選等

地域福祉局の活動

啓発部を活動実態に合わせ「おもちゃライブラリー部」に名称変更し、次の5部で活動いたします。

- ネットワーク部
- ふれあい事業部
- おもちゃライブラリー部
- 調査・広報部
- 地域交流部

地域福祉局関係者

顧問	山口 勇
会長	川村 広
副会長	平沢ふく枝
事務局長	小澤 保孝
地域福祉推進員	小松 信保
書記	豊田 實
会計	東川 規恵
会計監査	大友 義光
地域福祉局長	綿引 光雄
地域交流部	田中 重昭
	小澤 保孝
調査・広報部	大森 二葉
部長	鈴木 猛

副部長 前島良三郎
 ネットワーク部 部長 蛭田 信行

副部長 大上かほる

ふれあい事業部 部長 平沢ふく枝

副部長 青木由紀子

おもちゃライブラリー部 部長 福地 幸子

副部長 猪股 道代

推進福祉員 第1班班長 大谷 達也

副班長 鈴木 孝明

第2班班長 小堀 陽三

副班長 小川 雅行

第3班班長 今橋 靖昭

第4・5班班長 青山 勝利

副班長 川村 達雄

第6班班長 佐藤 正武

副班長 田中 武司

第7班班長 沼田 英雄

副班長 川村 豊

第8班班長 益富 晃一

副班長 鈴木 正平

敬老会のお知らせ

今年度の敬老会は、次ぎのとおり開催します。

9月10日(土曜日)

大みか小体育館



平成23年度地域福祉局(社協)
事業計画及び日程

平成22年度大みか学区地域福祉局決算書

総収入額 1,947,358 円
総支出額 1,782,127 円
差引残額 165,231 円
(次年度繰越金)

月	日	総務関係	日	地域交流	日	ネットワーク	日	調査・広報	日	ふれあい事業	日	おもちゃライブラリー	
4	4	役員連絡会※											
	7	会計監査											
	13	定例役員会											
	17	H23年度コミ推進総会											
5	9	役員連絡会※				14	見守りネット	18	かわら版編集	16	健康専科(体操)	18	幼児音楽リズムケア
	11	定例役員会					キーバソン会議	(福祉担当)					
	19	福祉局役員会											
	28	H23年度交流センター運営委員会											
6	5	交流センター清掃(利回と共催)	16	大みか交友昼食会					20	健康専科(体操)	15	幼児音楽リズムケア	
	6	役員連絡会※											
	8	合同役員会(局長・副局長含む)											
	8	役員名簿発行											
7	4	役員連絡会※				23	ふれあい交流会	5	社協だより発行	25	健康専科	6	幼児音楽リズムケア
	9	地区懇談会						(32号)	(いこいの村潤沼)				
	13	定例役員会						16	かわら版編集				
	21	福祉局役員会						(福祉担当)					
8	1	役員連絡会※							22	健康専科(栄養)	10	ファミリーサポート	
	4	敬老会実行委員会											
	10	合同役員会(局長・副局長含む)											
	20	大みか祭り											
9	3	市民レク実行委員会				7	巡回安全サービス	17	かわら版編集			7	幼児音楽リズムケア
	4	地域活性化懇談会						(福祉担当)					
	5	役員連絡会※											
	10	敬老会											
10	3	役員連絡会※	20	大みか交友昼食会					17	健康専科(体操)			
	6	福祉まつり実行委員会											
	8	市民レク全体会議											
	12	合同役員会(局長・副局長含む)											
11	4	福祉まつり実行委員会	17	大みか交友昼食会	20	ネットワークチーム	17	社協だより発行	21	健康専科(ゲーム)			
	7	役員連絡会※					(33号)	30	ハッスルふれあい				
	9	定例役員会						18	かわら版編集				
	13	福祉まつり						(福祉担当)					
12	4	交流センター清掃(利回と共催)	15	大みか交友昼食会					19	健康専科	21	幼児音楽リズムケア	
	5	役員連絡会※						(クリスマス)					
	14	合同役員会(局長・副局長含む)						30	ハッスルふれあい				
	8	賀詞交歓会						17	健康専科(ゲーム)				
23 1	9	役員連絡会※											
	11	定例役員会						20	社協だより発行				
	19	福祉局役員会						(34号)					
	6	役員連絡会※	16	大みか交友昼食会	19	あんしんネット			6	いきいき講座	1	幼児音楽リズムケア	
2	8	合同役員会(局長・副局長含む)							27				
	19	利回発表会							24	健康専科(料理)			
	5	役員連絡会※							6	3世代ふれあい			
	10	予算会議						18	かわら版編集	21	健康専科(反省会)		
3	14	定例役員会						(福祉担当)					
	15	福祉局役員会											

※役員連絡会は副会長以上及び総務

定例・指定事業	福祉相談窓口：毎週水・金曜日 9：00～
	ふれあい健康クラブ事業：毎月第2・4木曜日 10：00～
	ふれあい配食サービス事業：毎週木曜日 15：30～16：30
	ふれあいサロン事業：毎月第1・2・3・4火曜日 10：00～
	地域型おもちゃライブラリー：毎週水曜日 10：00～

収入 (単位：円)

科目	予算額	収入額
市社協負担金	1,414,000	1,418,815
繰越金	77,703	77,703
繰入金	170,000	130,000 20,000
諸収入	297	250,840
寄付金	0	50,000
合計	1,662,000	1,947,358

支出 (単位：円)

科目	予算額	支出額
運営費	840,501	815,943
事務運営費	654,791	659,603
事務管理費	185,710	156,340
事業費	779,000	946,184
地域交流部	329,000	549,910
調査・広報部	115,000	114,370
ネットワーク部	85,000	69,898
ふれあい事業部	130,000	103,116
啓発部	120,000	108,890
繰出金	40,000	20,000
予備費	2,499	0
合計	1,662,000	1,782,127

平成23年度大みか学区地域福祉局予算書

収入 (単位：円)

科目	本年度予算額	前年度予算額
市社協負担金	1,369,000	1,414,000
繰越金	165,231	77,703
諸収入	769	297
繰入金	0	170,000
合計	1,535,000	1,662,000

支出 (単位：円)

科目	本年度予算額	前年度予算額
運営費	863,651	840,501
事務運営費	675,941	654,791
事務管理費	187,710	185,710
事業費	662,000	779,000
地域交流部	352,000	329,000
調査・広報部	115,000	115,000
ネットワーク部	95,000	85,000
ふれあい事業部	70,000	130,000
おもちゃライブラリー部	30,000	120,000
繰出金	0	40,000
予備費	9,349	2,499
合計	1,535,000	1,662,000

震度6強 3月11日 大みかの街に 何が起きた！



PM 2:46

PM 2:46、日常生活の糧である、ライフラインを一瞬で奪い去る。恐怖と混乱の中で一夜を過ごし、普通の生活が、なんと素晴らしきことと、しみじみ思いました。一時まどろんで、夢であつてくれと思つた。でも心身は正直だ。余震とも身震いともつかぬ揺れがぬけない。

この震災を、**見届け・記憶し・記録に留めること**が、「安心の街」への、新しい一歩になると思います。

無事を見て手を握り合う話をすることで、少し落ち着きを取り戻す

PM 3:30

- 電話が通じない
- Aおばさんは元氣だ
- Bさんの塀が倒れた
- ラジオは東北地域の被災の報道で、茨城地区の情報は無い。

PM 4:00

- 余震が続く
- 家が潰れないか心配だ
- どこかに逃げようか？
- 「どうすつぺ」不安が考える力を鈍らせる

PM 5:00

- 口コミで、小学校ひなん場所に、人が集まっている
- 主人から連絡がない、家を離れることが出来ない
- ので、ここに残る。

PM 5:30

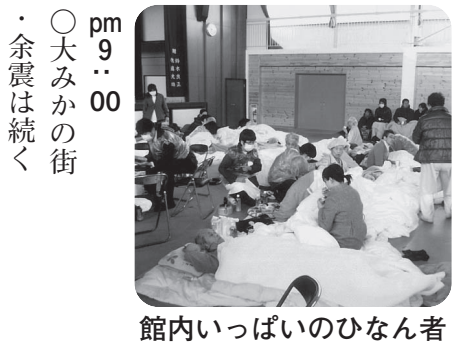
- 近所の数人とひなん場所に向かう。
- ひなん所ができている
- ひなん所は、大勢の人だ
- 受付・記名もなく、入館
- 館内は余震で天井が悲鳴を上げる。家に居るのと同じかと、一瞬思った。一人の家はもつと怖い。

PM 6:00

- 大みかの街
- 幹線道路は大渋滞続く
- 電話は通信不能
- 帰宅困難者が駅前集まる。
- ひなん所
- 暗い館内で、余震の恐怖と寒さに耐える。
- 携帯電話での通信を試みるのか？青白い光が、冬の蛍を思わす、ありえない通話にすがる。
- トイレに列ができる
- 人それぞれ我慢の限界があり、場内はざわつく



感謝の気持で給水



館内いっぱいのひなん者

PM 9:00

- 大みかの街
- 余震は続く
- 真つ暗なJR駅舎
- 車の渋滞は続く
- ひなん所
- 支給された毛布の数が足りず、寒さを訴える
- 息子は、水戸勤務なので帰つてこられるか心配
- 「私はいわき市に住んでいます、原発が心配です」
- 「俺は、北茨城だけど、津波が心配なんだ」
- 暖かいストーブ、饅頭の支援がある（A燃料店、B菓子店）感謝します

3月12日（土）晴れ

- 早朝のラジオ
- 「福島原発が放射能漏れの可能性あり」と報じる。
- 大変なことが起こりつつある。

騒然とした一夜が明けた街は意外に静かである

- 私のところは、水道水がきているよ
- うちの井戸は、トイレの水なら使えるよ
- 家にある45Lゴミ袋2枚重ねで、ダンボールに被せれば、水が運べるよ

「絆の火種」交流が希薄になった昨今、非常時に連帯感が生じ、助け合う。

震度6強の残したもの

1 隣組の力

- 地域活動の原点は、活力ある町内と隣組の助け合いが、町内を支える。目覚めた『絆』を大事に育てたいものです。
- 町内会、自治会に属せぬ方々の、非常時の声が聴こえてこない。日常生活の問題も含め、共有したものです。

2 大みかの光と影

- 助けられました
- 手持ちの発電機でポンプを回し供給してくれた方
- 手書き看板の「水あります」おいしかったです
- 83歳のご婦人、深井戸用手作り水汲バケツで給水「ありがとう」

○大みかの影
震災の数日後、通常の再生資源回収場所に、膨大な不法投棄品の山ができる。

3 情報の空白

○街で必要な情報
・防災放送が聞き取れない
・給水車は何時・何処にご婦人の口コミの情報が早く正確だ

4 心のケア

いまだに余震におびえ、高齢者は、心身喪失症に注意と報じられています。心身のバランスの回復が必要です。

震災時の街の声

○アパートの3階に住んでいる、高齢のひとり暮らしです。水も電気もガスも止まり、近隣とのつき合いもなく遠方から大みかに働きに来ていた私は、途方に暮れました。

○私は大みかの事業所に勤務しています。

地震当日、家にも帰れず、近くのビジネスホテルに泊まりました。

○私は単身赴任で大みかにきています。日頃地域の人とのふれあいはありません。途方にくれていたところ、

声をかけていただき、水や食料を分けてくれました。また、井戸水をもらえるところを教えてくださいました。

○私は福島から着の身着のまま家族で、大みかの知人を頼り、避難してきました。

住むところも無く途方にくれています。その時、家賃無料で貸してもよいと言つて声を掛けてくれた人がいました。感謝しています。

この震災をきっかけに、大みかの街で生活する方々との助け合いの輪を広げて行きたい。(調査・広報部)

支援活動について思う

ネットワーク部長

蛭田 信行

余震の中、ひとり暮らしの高齢者宅を訪問。留守宅もあつたが、再度の訪問で皆の無事を確認する。

ほつとするも、家の中は散乱し、屋根、塀等の損壊がありました。

状況報告のため交流センターへ行く。

翌13日から19日までは、



これまでの「社協まつり」を受け継いで、今年か

『ふくしのつどい』
開かれる 2月19日

支援物資を、ひとり暮らしの高齢者宅に配布、また、安否確認・相談ごと等で、一日2〜3回訪問する場合もあつた。水道・電気の復旧と共に配給物資の配布も19日が最後となりました。地震発生からの数日間は、通信手段が無く、部員各自が自己判断と自己責任において行動しました。それぞれの方々が、災害支援のため活動され、非常事態を何とか乗り越えようと努力しました。



江尻芳枝さん
長い間ご苦労さまでした

前福祉局長
の江尻芳枝さんが
退任されました。

大みか地区社会福祉協議会の設立から、今日まで地域福祉にご尽力を頂き感謝申し上げます。ありがとうございました。

「地域のみんなが楽しくふれあう集い・ふくしまつり」として開催された。

健康相談コーナーでは、超音波骨量測定、みそ汁塩分測定などが行われ、装具を付けた疑似体験コーナーも開かれました。

貝保様、古河様による能面作品の展示や、趣味の工作・手芸づくりコーナーももうけられました。

小さな生命と心をまもる「虐待防止」などの資料展示がされました。

一階ホールでは、けやき荘「きらきら合奏団」、「ハーモニフレンズ」の演奏、炭坑節の替え歌などなつかしい歌をみんなで楽

しく歌いました。

バザーには、35名から善意の提供品があり、32、860円の収益金を得ることができました。今後の大みかの福祉事業に使用していただきます。厚くお礼申し上げます。

新しく4名が
編集スタッフに

総会後の呼びかけに応え次の方が編集委員に加わりました。地域福祉の広報紙は10名で編集に携わります。

- 山中 明雄
- 後藤 仁
- 大和田和仁
- 黒澤 良成

編集後記

大みかゴルフ場は、ひな壇場所となつているが、震災当日は、何の対応もなされていなかった。翌12日、市に問い合わせたが、要領は得られなかった。

常磐線より山側の居住者は多く、大みか小のひな壇場所までは遠い。また支援物資等の支給面からも検討する必要があります。

(山中 記)